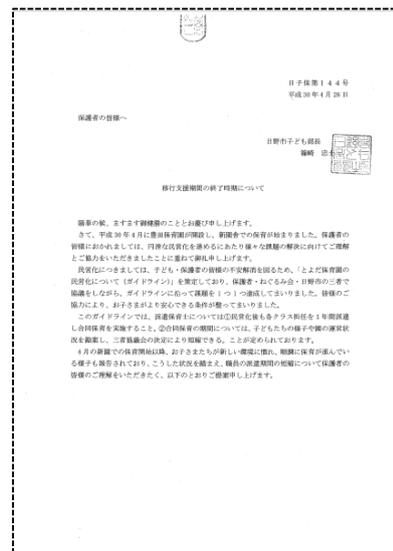


平成 30 年 6 月 16 日及び平成 30 年 6 月 18 日に開催した
市保育士派遣期間に関する説明会での配布資料です

この資料は、以前お配りした「移行支援期間の終了時期について（平成 30 年 4 月 26 日付）」を基に、現在の状況を加え作成してあります。内容については重複する部分がありますが、ご了承ください。

民営化につきましては、「とよだ保育園の民営化について（ガイドライン）」に基づき、保護者・ねぐるみ会・日野市の三者で協議をしながら、ガイドラインに沿って課題を 1 つ 1 つ達成してまいりました。皆様のご協力により、お子さまがより安心できる条件が整ってまいりました。



1. これまでの主な取り組み

ガイドラインを踏まえ、進行管理表を基に課題を 1 つ 1 つ達成してまいりました。

ガイドラインの主な項目	対応状況
民営化の 6 か月前からは、とよだ保育園の各クラスに担任予定者を配置	円滑な移行が進むよう、ねぐるみ会からの申し出により 1 年前から週 5 日体制とすることで、より充実した引き継ぎを実施してまいりました。
園長及び主任保育士は常勤・専任とし、管理職としての資質・能力と経験を有する者とする	園長・副園長共に、公立とよだ保育園の園長・副園長が継続することとなりました。
職員研修等の人材育成を積極的に行い、専門知識や経験、意欲のある質の高い職員を確保すること。	事業者公募の際に、保育士の経験年数 5 年以上の経験者を 1/3 以上配置することを条件としておりましたが、ねぐるみ会において、計画的に保育士採用を進め、合同保育に入った 4 人全員について、5 年以上の経験を持つ保育士を配置することができました。
保育内容が激変しないよう、事業の引継ぎを行うこと。	保育方針や年間行事なども公立で行ってきたものを引き継ぎました。

また、独自の取り組みとして園舎完成後には、子どもたちが早めに環境に馴れ、前向きになれるよう、事前に園舎や園庭の見学なども日常の保育に織り交ぜながら行ってまいりました。

こうした 1 年間の取り組みに加え、昨年 11 月頃には、臨時職員を含めた職員体制がほぼ従来の体制のまま移行できる目途が立ち、移行後も子どもたちに大きなストレスをかけずに、安定した運営が実現できる見通しをもって 4 月を迎えることができました。

2. 現在の園の様子

4 月に入ってからは、子どもの生活の様子、担任保育士の保育状況、保護者との関係、園全体の運営状況について報告を受け、順調に保育が進んでいる様子を確認しております（確認は、市が今年度より配置した、豊富な経験を持つ保育コンシェルジュ（公立園長経験者）を活用して、園の様子や保育士からのヒアリングにより実施）。

(1) 子どもの様子

民営化による影響を考慮し、保育士を派遣している2～5歳児クラスについて

	4月中旬の様子 (4/17三者協議会 馬宮園長からの報告内容)	6月(現在)の様子
5歳児 (きりん)	<ul style="list-style-type: none"> 3月から園舎の見学などを散歩に組み込んだ。自分のマークを見つけ、安心してた。 4月に入り子どもたちの緊張感はあったが、慣れは早かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前と大きく変わることなく、自分の好きな遊びを存分に楽しんでいる。 午睡準備、給食等の当番活動も定着した。
4歳児 (くま)	<ul style="list-style-type: none"> 3月から新園舎への散歩を通じ、新しい環境に期待をもって移行する事が出来た。 4月に入り、不安感は見られたものの、クラスとしては動き始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園舎やクラスの使い方、あそぶ時のルールなどがわかってきて、活動時もクラスとしてのまとまりが感じられる。
3歳児 (うさぎ)	<ul style="list-style-type: none"> 園舎移転にかかわらず、乳児から幼児クラスになり環境の変化が大きい年齢である。 最初は新入児につられ、進級児の一部も泣いていたが、体を動かすことでストレスを発散し、落ち着いていった。 先生の話の聞き、馴染もうとする様子が見られた。慣れてくることで、色々なものを発見し、楽しむ姿も見られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任の方を向いて座り話を聞く、座って食べる、皆で歌を楽しむなどが出来るようになった。 担任に促されながらも、自分で動こうとする姿が見られるようになり、一斉活動も出来るようになった。
2歳児 (りす)	<ul style="list-style-type: none"> 進級児全員+新入児3名のクラスでは、新入児も含め生活のリズムが完成しており、安定して過ごしている。 新入児のみのクラスでは、現段階ではまだ落ち着いていないが、日々新しい生活環境に慣れてきており、いずれ解消される。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の泣き声もなくなり落ち着いてきた。進級児が多いクラスと新入児のクラスで生活のリズム作りは違ったが、両クラスで同じく進められるようになった。 一人ひとりが好きな遊びを楽しむ姿が見られるようになった。

(2) 保育士の様子

	4月中旬の様子 (4/17三者協議会 馬宮園長からの報告内容)	6月(現在)の様子
	<ul style="list-style-type: none"> 2～5歳児共通で、全クラスねぐるみ会の保育士がリーダーとしてそれぞれ保育にあたっている。市から派遣している保育士については、それぞれフォロー役 	<ul style="list-style-type: none"> 5月、引き続きフォローの体制でクラスに入っている。 各クラスの生活の流れは作れて来たので、現在は充実保育士に対し、クラスに補充に入

	<p>に徹している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新園舎に決定的な欠陥はない。気づいた部分は理事長に随時対応依頼している。 保育士も自ら考え、工夫している。 	<p>る場合に留意しておきたい点、配慮などを伝えるとともに、旧豊田から引き継ぐ行事等の土台の作成も手掛けている。</p>
--	--	--

3. アンケート意見について

5月に保護者会役員様に取りまとめいただいたアンケートの中で、職員配置に関するご意見が多かったため、お答えいたします。

主なご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・現在何名の保育士が派遣されているのか、そもそも分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市から4名の保育士を派遣しており、2～5歳児クラスに1名ずつ配属されています。
<ul style="list-style-type: none"> ・派遣保育士4名が抜けた分の欠員が心配。ねぐるみ会でその分の保育士を確保できるか。 ・現状もしくはそれ以上の人員を確保できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスには、派遣保育士を除いて、必要なだけの保育士を4月から配置しています。派遣の4名は民営化の移行支援のために配置されており、抜けることで保育士が不足することはありません。 ・職員数は日野市特定保育所運営費支弁要綱（特に1歳児は、国基準の6：1より厳しい5：1を基準としている）で決まっており、豊田保育園もその基準を満たしています。

4. 保育の引継ぎ等について

4月以降、派遣保育士4名が各クラスのフォローにあたり、安定した保育を提供できる万全の体制が構築されました。今後は、これまでの取り組みに加えて、以下の引継ぎを行ってまいります。

【6月】①充実保育士に対し、クラスに補充に入る場合の個別の留意事項等の確認。

②旧豊田から引き継ぐ行事等の土台の作成。

【7月】上記の内容も含めた総仕上げ。

5. 引継ぎ終了後のフォロー体制

民間保育園の運営については、保育という公的なサービスを委託する立場としての市の指導監督責任が法律上明記されています。

①引き続き、園の運営や保育内容を検証し必要に応じて、指導監督を行います。

②保育士スキルアップに向けて公立との合同研修への参加機会を設けます。

③第三者評価制度の受審を保育所運営法人に義務付けており、評価結果をネット上で公開し、情報開示に努めてまいります。

など、引き続きガイドラインに沿った指導監督を実施します。特に①は、市が今年度より配置した、豊富な経験を持つ保育コンシェルジュ（公立園長経験者）を活用し、今後も継続的に対応してまいります。